

## 会 議 録

会議名	平成25年度 第6回 相模原市経営評価委員会		
事務局	企画部 経営監理課		
開催日時	平成26年3月10日(月曜日) 午後6時00分～午後7時15分		
開催場所	市役所本庁舎 本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	出席委員8人(別紙のとおり)	
	市		
	事務局	4人(経営監理課長 他3人)	
公開の可否	公開可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	/		
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 傍聴者確認</li> <li>2 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) さがみはら都市経営指針実行計画の進行管理について</li> <li>(2) その他</li> </ul> </li> </ul>		

主な内容は次のとおり。

- 1 傍聴者確認
- 2 議事
  - (1) さがみはら都市経営指針実行計画の進行管理について  
進行管理の考え方や方法等について説明を行い、質疑等を行った。
  - (2) その他
    - 事務事業評価の対応方針及び評価区分の報告
    - アクションプランの対応方針の報告
    - 新たな市債発行の目標値の設定の報告
    - 手数料のコスト公表等の報告

(以下質疑応答・意見交換 委員の発言、事務局の発言)  
(1) さがみはら都市経営指針実行計画の進行管理について

資料1-2の「都市経営指針実行計画取組項目 進行管理シート(案)」にある予算額と投入経費は同じものか。

予算額は一般会計等の予算額であり、投入経費は効果額を算出するための経費であって人件費なども含まれる。

進行管理を行う上で、タイムスケジュールが重要になってくると考える。取組の翌年度に評価し、フィードバックするとなると、早いうちに評価等を出して改善を促すといったようなスピード感が本委員会に要求されていると考えるが、スケジュールはどのように予定されているのか。

年度が変わったところで、前年度の取組状況について、所管課が進行管理シートを作成後、6～7月頃には委員会で評価を実施していただきたいと考えている。取組によっては、翌年の予算に評価の結果を反映させるためにも10月頃には対応方針を決定していきたいと考えている。

進行管理シートの内容について、実績を記入する欄に比べ、計画を記入する欄が少ないと考える。計画がしっかりと定められなければ、実績も備わっていない。計画と実績を記入する欄は同程度とし、計画については半期毎のアクションをイメージして記入する方がよいと考える。

年次計画については既に決まっているものであり、変更するものではない。年次実績や見直し計画については、あくまでも進行管理上のもので捉えていただきたい。計画と実績の記入欄については、事業によって記入する量も異なることから、レイアウトをある程度自由に換えられるようにし、その旨を作成マニュアルで補足していきたいと考えている。

取組内容について、一度記入すると変更しないのか。

評価しやすいよう、補足的な事項については、所管課が随時記入する予定である。

取組内容の欄に、取組の目的を明確に記入するようにはしていきたい。目的が明確になったうえで、数年後の目標値があり、進行管理を行ううえで、目的に向かって正しく進んでいるかを評価することが、本委員会の役割であると考えている。

シートの中に、目的を記入する欄を設けることも含め、検討する。

評価についてだが、年度毎に変わっていくものか。

年度毎に評価を行っていただきたいと考えているが、最終年度の評価を行う際には、全体をみて評価していただくこともあると考えている。

年度毎に評価を実施するのであれば、このシートでは評価区分の変化がわからないので、過去の評価を比較するためにもシートの中に記載した方がよいと考える。

過去の評価を参考とすることも必要なことであると思うが、シートをより簡潔にわかりやすくするために、シートそのものには過去の評価を記載しない方向で検討させていただく。

進捗が遅れている取組について、年度の途中で中間報告等を行うことは可能か。

基本的には年度毎に作成するものであるが、委員会の意見として特別に半年後の対応を求めた取組に対しては、報告等を行うことは可能であると考えている。

6月から7月にシートが完成し、10月の予算編成にも評価を反映させるとすると、7月から9月に集中的に評価を行うということでしょうか。

その予定である。内容が不明なものについては、所管課へのヒアリングを実施することも必要と考えている。

効果額の算出根拠については、わかりやすく記入するようにしてほしい。わかりやすく記入するよう作成マニュアルで指示していく。

成果指標ではなく行動指標しか記入できないものの中にはあると考える。そういったものについては、行動指標しか記入できない理由等を明確にし、説明していただきたい。

その旨を作成マニュアルで指示し、行動指標等で補っているものについては、委員会で説明できるよう対応する。

## (2) その他

資料 2-1 の事務事業評価の評価区分について、「改善・縮小」という区分を変更したこと、資料 2-2、2-3 の事務事業評価の対応方針の集計結果について、「アトラボはしもと」事業については委員会で評価した「現状維持」という区分を対応方針にて「拡充」に変更したこと、資料 3 のアクションプランの対応方針一覧表を作成したこと、資料 4 の市債発行抑制の新たな数値目標を定めたこと、資料 5 のコスト公表等について報告。

氏 名	所属団体等	出欠
山口 由紀子	相模女子大学教授	出
川崎 一泰	東洋大学経済学部教授	出
出雲 明子	東海大学准教授	欠
霧生 卓	公認会計士	出
田所 昌訓	相模原市自治会連合会	出
長谷川 光明	相模原商工会議所	欠
大島 浩之	公募委員	出
西村 初代	公募委員	出
芳賀 貞江	公募委員	出
安田 隆春	公募委員	出